



三重病院新病棟紹介	1ページ
新任医師紹介コーナー／医療福祉相談室だより「⑤確定申告の医療費控除」	2ページ
院長室だより「川崎病や中耳炎が治った後、ワクチンはいつ接種する？」／糖尿病教室〈予告〉	3ページ
禁煙区域のお知らせ／外来からのお知らせ／外来診察のご案内	4ページ

三重病院新病棟紹介 1

2病棟紹介(中央棟2階)

三重病院に新病棟が完成しました。中央棟と言います。1月7・8日に引っ越しを終え稼働始めて1ヶ月が過ぎつつあります。新病棟のコンセプトは

- ① 入院患者のアメニティーの向上
- ② 地域医療との連携の強化
- ③ リハビリテーションの充実
- ④ 厨房機器などのオール電化
- ⑤ 在宅の重症心身障害児の医療福祉の充実

です。

新病棟は、外来棟の奥、つまり西側にあり、1階が整形外科とリハビリ室、2階が小児科・小児外科、3階が内科・神経内科となっています。また、子どもの感染症患者の入院にも対応できる第二種感染症病床を2床新設しました。これから、少しずつ各部門を紹介していきます。さっそく2階の小児病棟をご紹介します。



フレイルームと柱

新病棟の2階は全部、小児のための病棟です。

感染症、外科手術や耳鼻科手術、検査目的、アレルギー疾患入院、そして隣接する緑ヶ丘特別支援学校に通学しながら入院治療を受ける子どもたちが、この病棟で今までと同様の入院生活を送っていただくことができます。

2病棟の構造は、「コの字」になっており、真ん中にスタッフステーションを挟み、北側と南側に病室があります。入院目的と病状により、病室は決めさせていただきます。



くまのプーさんの処置室

ますが、どの病室に入院しても変わらない入院環境になるよう、食堂・フレイルーム・シャワー室・処置室などを北側・南側両方に配置しています。使用時間や方法などは病棟看護師にお聞きください。

緑ヶ丘特別支援学校に通学しながら、入院生活を送っている子どもたちの病棟には、今まで屋外で遊べるスペースがありました。やはり、子どもたちには元気いっぱい走り回って欲しいという願いがあります。もちろん発熱や手術後に動き回って遊ぶことは難しいと思いますが、病室だけで過ごすことは、子どものみならず付き添っていただいているご家族にもストレスになると思います。そこで北側のフレイルームは6m×6m・南側は9m×9mの広さを確保しました。また支援学校に通学している子どもたちは、病気だけでなく、勉強・友人関係などさまざまな悩みをかかえる時期です。フレイルームで動き回るだけでは解消されないこともあります。「自律訓練」「スヌーズレン」「SST(ソーシャル・スキル・トレーニング)」などを行えるような部屋を作りました。この部屋は、防音にて静かな状況で治療などに取り組めるよう環境を整えてあります。

次ページに続きます▶▶▶